

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		奏楽堂管理運営				所管	文化産業観光部 文化振興課			
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始] 昭和62年度 [終了予定] - 年度	
		[小 柱]								
		[施 策]								
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区立旧東京音楽学校奏楽堂条例、同施行規則						
	事業対象	区民および広く一般								
	事業目的	奏楽堂は昭和58年に東京藝術大学より寄贈を受けた。日本最初の木造洋式音楽ホールで、国の重要文化財である奏楽堂を生きた文化財として活用することにより、芸術文化の振興を図る。								
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の公開、維持、管理 ホール、練習室及びパイプオルガンの使用に関すること 音楽に関する資料の収集、保管及び展示 								
委託の有無	全部委託(指定管理)	委託内容	(公財)台東区芸術文化財団を指定管理者とし、管理運営を委託している。							
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度			
	活動指標	施設一般公開日数	(日)	-	244	243	-			
		ホール利用可能数	(日)	-	187	198	-			
	成果指標	施設一般公開入館者数	(人)	-	17,807	25,352	-			
		ホール利用件数	(件)	-	177	191	-			
	決算額	(単位：千円)			32,143	28,806	20,933			
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,800	1,666	1,108			
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			29,063	28,807	20,933			
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			3,081	0	0			
		総経費			33,944	30,473	22,041			
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			11,099	12,579	0				
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			541	125	0				
	一般財源(区負担額)			22,304	17,769	22,041				
前年度から改善した事項	休館中においても「木曜コンサート」「日本歌曲コンクール」等の事業を行うとともに、パイプオルガンを始めとした楽器や貴重な寄贈資料等の維持管理を適正に行った。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	国の重要文化財に指定されている奏楽堂は日本最初の木造洋式音楽ホールであり、区民をはじめ多くの方々の芸術文化振興に必要とされている施設である。							
	効率性	3	重要文化財である施設はもちろん、楽器や貴重な寄贈資料等の備品においても適切な維持管理等に努め、最小限の経費で効率的な運営を行っている。							
	手段の適切性	3	休館について一年前より広報を行うなど、来館者や利用者に不便のないよう努めた。							
	目的達成度	3	休館中においても継続している「木曜コンサート」「日本歌曲コンクール」等の会場変更について、事前より広く周知していたため、大きな混乱はなかった。							
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			
国の重要文化財に指定されている奏楽堂を生きた文化財として活用していくため、休館中においても事業の継続やパイプオルガンを始めとした楽器・貴重な寄贈資料等の備品管理が必要となる。						維持				